

デジタル田園健康特区における 革新的医療技術の社会実装

岡山大学病院 地域医療DX推進講座 上田 浩平

地域医療の課題とDX導入による医療アクセス向上
遠隔医療の普及による地域格差の解消と効果測定
新たな法改正へ向けての取り組み

吉備中央町の現状

人口: 約10,008人(2025年)

高齢化率: 45.9%(全国平均29.3%)

救急搬送の9割以上が町外医療機関への搬送

救急搬送時間: 平均61分

デジタル田園健康特区



2022年3月 デジタル田園健康特区として吉備中央町が指定

医療制度改革と社会変革を先導 デジタル技術による地域医療課題の解決

岡山大学病院を中心とした産学官連携による実証事業

6つの革新的医療技術システム

a) ドクターカー・遠隔医療支援

統合ビューアによるリアルタイム画像伝送と遠隔診断

b) 救急救命士による病院前超音波検査

超音波検査の現場実施と遠隔指導システムとの連携

病院の医師の指示下で救命士がエコー検査を実施。救急車内のエコー映像をMCへ伝送



①エコー検査映像、②救急救命士の視線映像、③救急車内の全景映像、④位置情報

を搬送先病院に伝送し、搬送先病院の医師が伝送された映像を見ながら救急救命士にプローブの動かす動作を伝えることで、責任は医師の元で検査の精度を向上する。

本年度は、安全性と教育体制の実証調査をし、研究として対応している。

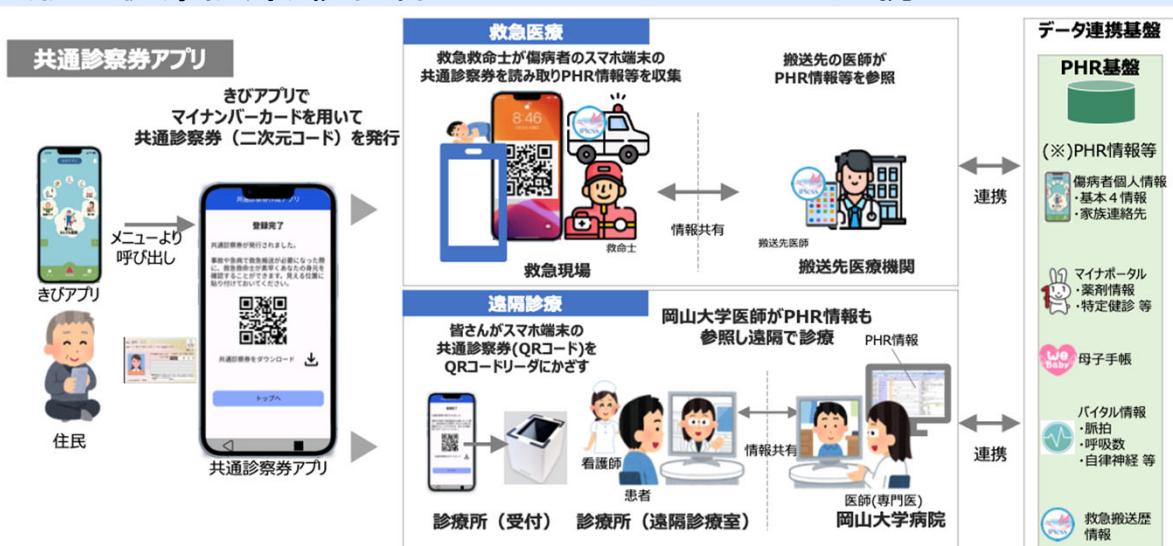
<42/84



OKAYAMA UNIVERSITY

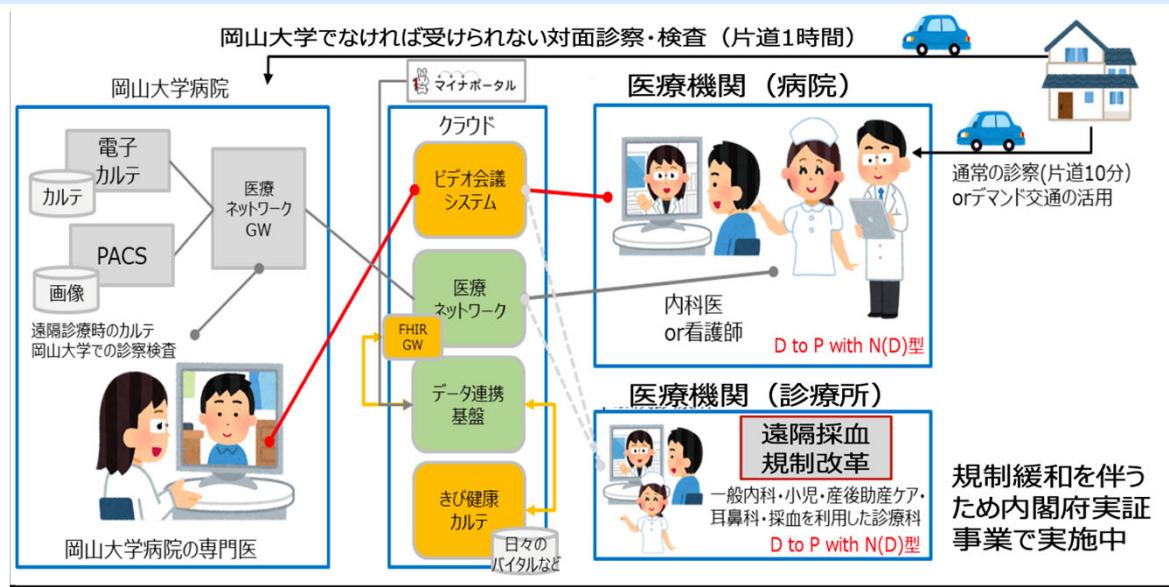
c) 共通診察券・きびアプリ

PHR(個人健康記録)統合管理とマイナンバーカード連携



d) 遠隔診療・遠隔採血

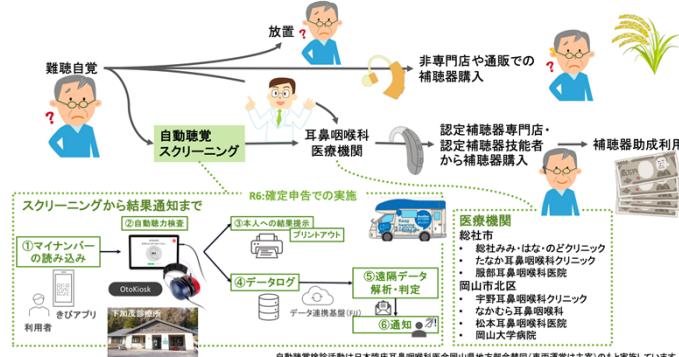
オンライン診療プラットフォームとICT技術活用



e) 聴覚スクリーニング

住民健康管理システムと補聴器助成制度連携

吉備中央町 自動聴覚スクリーニングと助成事業



f) SAS在宅スクリーニング

ウォッチャット貸与システムによる自宅での簡便検査

睡眠時無呼吸症候群の在宅スクリーニング（概要）

